

玉井小だより

平成28年10月18日

大玉村立玉井小学校

TEL (48) 3302

発行者 校長 佐藤一男

あだたら健康マラソン大会に向けて



【牧野先生と一緒に】

10月も半ばに入り、あだたら健康マラソン大会に向け、子どもたちの練習にも熱が入ってきました。毎朝、1周500mのコースを一生懸命走っています。

都合がつく日には、牧野敏雄先生も来て、一緒に走ってくださっています。走りながら、子どもたちに「飛び跳ねないように走るんだよ。」などと優しく声をかけてくださいます。ありがたいなと思います。

朝の忙しい時間ですが、時間がありましたら、子どもたちに声をかけていただけると、ありがたいなと思っています。

大会当日の応援ももちろんありがたいのですが、大会に向けて一生懸命練習しているときに応援してもらえると、子どもたちは本当に喜ぶと思います。

思いを共有する

9月の1ヶ月間、3年生の算数の時間に保護者の方々が参加してくださいました。そして、引き続き10月も来てくださっています。お仕事等もあることと思いますが、算数の時間には誰かしら来てくださっています。

あるお母さんの感想です。

「なかなか一人では先へ進めない子もありますが、そばで声をかければ、わかって、進めるようになります。先生一人では大変だと思います。」

学校においでいただき、実際に子どもたちの学習活動にかかわる中で、保護者の皆様や地域の方々が学校教育への理解を深め、思いを共有していただければ、こんな嬉しいことはありません。

これから学習発表会の練習などで、保護者の皆様や地域の方々のお力をお借りすることもあると思います。是非ご協力をお願いします。



【3年の算数の授業で】

サツマイモ、たくさん獲れました



【立派なサツマイモが獲れました】

実りの秋です。学校の畑にもサツマイモやトマト、枝豆などが立派に実りました。

10月7日(金)には2年生が、そして11日(火)には1年生が芋掘りをしました。14日(金)にはサポート学級の子どもたちが収穫しました。30センチくらいの大きなサツマイモが出てきて、子どもたちは大喜びでした。

用務員の國分先生が、「去年の4倍は獲れましたよ。」とおっしゃっていました。

國分先生が、春に肥やしをたくさん入れて、畑専用の水道も引いて、丹精込めて手入れをしてくださいま

〈裏へ続きます〉

した。土日の休みの日や夏休み中も様子を見て下さっていました。子どもたちの喜びは、周りのたくさんの大人の方の力に支えられています。

わたしのいもをほったら、大っきいのがでできました。ゆら（夢空）ちゃんとりあら（凜愛徠）ちゃん、おいもをほりました。おいもをひっぱたら、おもかったので、3人でひっぱりました。みんなたのしそうにやっていました。おいもをほったときに、なにかのむしがでできました。3人でひっぱたら、ころんじゃいました。みんな大っきいのをとっていました。またやりたいと思いました。（1年 服部紅葉）



【みなさんに支えられています】

5年生の宿泊学習（9／26～28）

私が3日間で一番心に残ったのは、茶臼岳登山です。登る前は「いけるな。」と思っていたけど、登山をはじめてみたら、最初から少しきつかったので、びっくりしました。頂上まで行って、お昼ご飯も食べて、最後まで下山できたのでよかったです。茶臼岳は初めてだったけど、みんなと登山ができて、楽しかったです。

二つ目は、「ビジュアル・オリエンテーリング」です。班毎に協力して見つけることができて楽しかったです。私たち4班は、1、2、3位に入れなくてくやしかったけど、4位に入れたのでうれしかったです。協力してできたのでよかったです。

心に残ったことの三つ目は、野外炊飯のカレー作りです。班のみんなでカレーライスを作るということはこれまではなく、初めてです。カレーは上手にできたけど、ご飯は上手にいかなくて、もち（餅）みたいなご飯になってしまいました。でもカレーと合わせて食べてみたら、意外においしかったので、自分の中では百点満点です。

それから、この3日間で身につけたことは、あいさつです。これからは毎日元気にあいさつできるようにがんばりたいです。（5年 押山春菜）

ぼくが宿泊学習で学んだことは、二つあります。

一つ目は、「難しいことでも、いやなことでも、苦しいときでも友達といれば大丈夫」ということを学びました。野外炊飯のときに、他の班より遅くて、嫌になりかけたけど、みんなが手伝ってくれて、おいしいカレーができました。よかったです。



【栃木県那須町の茶臼岳で】

二つ目は、茶臼岳に登ったことです。楽しかったのですが、恐怖感もありました。友達と一緒にいると恐怖感が消えていき、楽しかったのがもっともっと楽しくなりました。これからは友達と協力したり、助け合ったりして生活していきたいです。

ぼくが、この3日間で学んだことは、「友だちとやれば何でもできる。どんなときでもできる。」ということです。ぼくは、これをモットーに生活していきたいです。（5年 渡辺康介）

同じ時間と同じ場所で、何かを一緒にやるということはとても大事なことになると思います。それによって、人とのつながりは深まり、豊かになります。

そして、一人ではなかなかできなくても、仲間と一緒にだとできることもあります。5年生もいい体験ができました。